



やすらぎ

芙蓉会社内報
令和7年6月号

芙蓉会

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

6月3日早朝に読売巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄氏の訃報が飛び込んできました。ここ数年は体調を崩されていると聞いており、心配はしておりましたが、愕然としました。少年時代から今に至るまで野球というスポーツに魅了された身としては、長嶋監督が野球の神様と信じてやまず、本人が好んで使われた「野球というスポーツは人生そのものだ」という彼の人生を表現した言葉に陶醉したものです。長嶋監督の存在を初めて認識したのは、1974年10月14日の引退試合のセレモニーでした。テレビを見ている大人が号泣している様子を見て驚いた事を覚えております。現役時代のプレーは、後の映像等で知る形でしたが、見れば見るほど華のあるプレーヤーでした。今年の3月には、メジャーリーグ・ドジャースの日本開幕戦が開催され、大谷選手とのツーショット写真、そして某CMでの共演（CG仕様ですが）では感激したばかりでしたが。

さて今年度の事業計画については、前回ご報告させていただいたとおり、組織上では新たに監査課を立ち上げ、電子カルテ導入後の各種規定とマニュアルの整備について取り掛かっております。電子カルテの準備期間として約2年を費やしましたが、この間に業務改善等の取り組みも行い、運営面においてもレベルアップして



きたと自負する反面、年々基準が引き上げられる監査対応については、疑心暗鬼になる部分があるのも事実です。運営上で必須である届け出や、人員基準遵守等、病院運営ならではの特殊な部分もあり、試行錯誤する面もありますが、現在のスタッフの力量を考えると、将来的には病院機能評価受診や病床単価引き上げに伴う病床変更も視野に入ってきていると感じております。今後については、電子カルテの円滑な稼働を優先しつつ、徐々に課題への取り組みを強化し、ステップアップしていく所存でございます。

最後に、常にファンを意識してプレーされたのが長嶋監督でした。我々も常にご利用者を意識しての運営を目指します。長嶋監督ありがとうございました。長嶋監督は永久に不滅です。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・千葉芙蓉病院
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム

2025年4月研修「新年度事業計画について」

発行者：四ヶ所理事長

内容：今年度の法人の事業計画について、四ヶ所理事長から説明がありました。まず、昨年度計画の電子カルテの導入、特定技能の外国人の受け入れ等の報告と、今年度の組織再編、業務効率化に向けた計画を発表。千葉事業所の施設整備計画や、全事業所におけるコロナ禍以降の稼働率についても説明されました。最後に、「ご利用者良し、スタッフ良し、世間良しの“三方良し”の精神」で、今年度も取り組んでいくことを表明し、運営への理解と協力を求めました。



2025年5月研修「医療ガス研修」

発行者：エア・ウォーター東日本（株）高橋様

内容：酸素等の医療ガスを使用する医療施設には、医療法で年1回以上、取扱いに関する研修が義務付けられています。今回は酸素ボンベ

の取扱いについて取り上げ、使用する部署を中心に、特に酸素ボンベの使い方・運搬・保管について詳しく説明しました。内容とした。



2025年5月研修「BCP研修」

発行者：BCP担当 人事課 盆子原課長

内容：今回の研修では、まずBCP(Business Continuity Plan=事業継続計画)について改めて内容を説明し、後半に災害時の机上訓練を行った。

有事にどうやって事業を継続していくかを前もって計画し、職員一人ひとりがそれを知っておくことは基本だが、災害想定は数えきれないほどあり、ケースbyケースでの対応を余儀なくされることは明白である。今回の机上訓練は「もし、35℃を超える猛暑日が続く日に震度6強の地震が起こったら」というお題を出し、「猛暑 + 停電」の対策を皆で考えてもらった。実際に災害が起こったら、マニュアルを参考に自分

たちで対策を練らなくてはならない。日頃から災害に備えて様々な想定に対する対策をしておくことが必要だ”という意識付けを目的に実施した。

